

# 会議録

令和6年2月21日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和5年度第7回定例会
開催日時	令和5年11月15日(水) 18時30分から20時30分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、小須田厚子(副会長)、辻康一、高橋浩一、高井正、荒井容子、荒井茂、小池教之、下坂小百合、石川健、ギログリー江美、城石雅行、松本静 職員：福所館長、國府方館長補佐(芝久保分館長)、山本分館長(田無)、一之瀬分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	青木美紀子、市川事業係長
議題	1 審議事項 (1) 令和5年度第5回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和5年度第6回定例会会議録(案)について 2 主催事業について (1) 令和5年度公民館主催事業報告について(資料4) (2) 令和5年度公民館主催事業計画について(資料2) (3) 令和5年度第1回利用者懇願会報告について(資料3) (4) 令和5年度公民館市民企画事業について (5) 令和5年度まちなか先生について 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 令和5年度公民館運営審議会委員研修 (2) その他 (3) 令和5年度第8回定例会の開催について
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 令和5年度第5回定例会会議録(案) 資料2 令和5年度公民館主催事業計画書 資料3 令和5年度第1回利用者懇談会報告 資料4 令和5年度公民館主催事業報告書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(2名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	<p><b>1 審議事項</b></p> <p>(1) 令和5年度第5回定例会会議録(案)について(資料1) ●令和5年度第5回定例会会議録(案)について承認</p> <p>(2) 令和5年度第6回定例会会議録(案)について ●令和5年度第6回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し、1週間以内を目途に修正意見を事務局に送ることとする。</p> <p><b>2 主催事業について</b></p> <p>(1) 令和5年度公民館主催事業報告について(資料4) ○司会 提出されている報告書は多文化カフェ「ウクライナ避難民の方々と交流会」(保谷駅前)1件だが、これは、計画書が提出されている多文化共生講座「ウクライナ避難民・難民支援から多</p>

文化共生・平和を考える」（保谷駅前）と関連があるので、一緒に意見を伺いたい。

## (2) 令和5年度公民館主催事業計画について(資料2)

### ○A委員

多文化カフェ(保谷駅前)について、参加者の評価欄には「対応、運営がとても丁寧で、よく考えられた交流会の内容・進行だった」とあり、担当の考察には「話しあうテーマをあらかじめ決めておいた方が交流会の内容が深まったのではという意見があった」とある。カフェと講座では異なるが、多文化カフェについてどのような評価をし、その結果を多文化共生講座にどのように反応させたのか、伺いたい。

### ○分館長(保谷駅前)

多文化共生講座(保谷駅前)については、ウクライナはホットなテーマなので、平和を絡めながら取り組む。多文化カフェ(保谷駅前)はグループに分かれて話し合ったが、多文化共生講座でも、講義を聞くだけでなく、一人一人が意見を言い、相互に理解を深めていく運営を考えている。

### ○A委員

多文化共生講座(保谷駅前)は、勤労者等が参加しやすい土曜日の夜間に実施する、平和と絡めて取り組むなど、多文化カフェ(保谷駅前)の反省が反映され、工夫されていると思う。

### ○B委員

多文化カフェ(保谷駅前)のような単発の事業は、どういう出口を見通して実施するのがとても大事。多文化カフェにたくさんの方が参加され、そこでの学びを深めようと多文化共生講座(保谷駅前)につなげることはとてもよい流れだと思う。多文化カフェに参加した人の意見を多文化共生講座に活かすということが行われたのか、伺いたい。

### ○分館長(保谷駅前)

多文化カフェ(保谷駅前)は通常、単発事業として行ってきたが、今回取り上げたウクライナの問題は、平和の問題も絡んでいる。そこで、1回で終わらせるのではなく、もっと多くの人といろいろな角度から深めていこうと、参加しやすい土曜日の夜間の連続講座として多文化共生講座(保谷駅前)を企画した。

### ○B委員

実施日時の設定や内容に多文化カフェ参加者の意見を反映させており、そのことはとても大切なことだと思う。

### ○C委員

多文化カフェ(保谷駅前)の報告書の担当の考察欄に「交流会の参加人数を絞ったことで多数の市民からもっと実施してほしいという要望をいただいた」とあるが、この文言は理解しにくい。この要望に応じて多文化共生講座(保谷駅前)を実施するとあるが、定員は20人。結局、20人しかかかわれないことが気になる。本来であれば、多文化カフェに多くの方が参加できるようにして、その後、テーマを絞って多文化共生講座を行うという流れではないかと思う。多文化カフェに参加したいという人が多かったのであれば、多文化共生講座の定員を増やして、多くの方にウクライナのことを知ってもらい、学んでもらう機会を提供する方が整合性があると思う。

### ○分館長(保谷駅前)

会場は集会室なので、定員については再検討したい。

### ○A委員

昨年度の事業で、関心の高いテーマをとりあげた女性対象の講座についても、もっと多くの人に聞いてもらえるようにした方がよいという意見が出された。時事問題等で関心の高いテーマは、講座ではなくカフェのような形で行うなど、方法を工夫して何回も行ってよいのかなと思った。

暮らしに役立つ実学講座「ライフスタイルにあう片づけ」(芝久保)について、片づけは年齢層によって内容が異なってくると思うが、どの世代でも対応できる内容なのか。対象年齢を限定しなくてよいのか。

### ○D委員

高齢者の終活の片付け、結婚や子育てのための片付け、一人暮らしの片付けなど、状況や年代によって、片付けの意味あいやその奥にあるものは異なる。暮らしに役立つ実学講座（芝久保）は、面白い講座になると思う。

○分館長（芝久保）

暮らしに役立つ実学講座（芝久保）では、特に年代を絞っていない。講師は子育て世代や子育てから復帰する世代を専門としているが、今回は幅広い世代を対象としている。実施日が平日の午前なので、年齢層が高い方の参加が多いと考えている。

○D委員

暮らしに役立つ実学講座（芝久保）は、深めると生き方にもつながる講座だと思う。

○C委員

ウクライナの問題は関心が高く、それをとりあげた多文化カフェ（保谷駅前）も希望者が多かったということだが、今、ガザの問題にも心を痛めている人が多いと思う。何が起きているのか、どう対応したらよいか、時事問題や世界で起きていることなどを取り上げた講座を、定員を少人数に設定せずに、入門講座から深めていく形で企画・実施していただけたらと思う。

○E委員

ウクライナの問題等は、いろいろな立場、いろいろな考えの人が話をして、いろいろな視点から深めていくパネルディスカッションが適していると思う。参加者を増やして実施するとよいのではないかな。

片付けで悩んでいる高齢者は多い。片付けは、高齢なほど大変で、気力が薄れていく。大量の本や資料や記録は、自分の人生そのもの。暮らしに役立つ実学講座は対象を分けた方がいいと思う。

○D委員

趣味の講座「パンチニードル刺繍ふわふわモコモコ小物づくり」（田無）は、誰でも参加できる手芸の講座で、最終的に作品展示を行うが、すぐできる人、苦手だけど参加した人など、参加される方のレベルには差があると思う。グループ構成や座席など、参加者の関係形成に配慮しながら運営していただきたい。展示もみんなが参加して、みんなで作る展示になるように進めていただきたい。

情報提供だが、自宅に配布された「西東京の教育」第103号で、谷戸公民館主催の中高生が企画する小学生向け防災講座「めざせ！防災マスター!!」のことが取り上げられていた。

○F委員

防災講座「防災芋づる大作戦」（ひばりが丘）について、「最終日は、参加者が誘いたい人を一人連れて参加」とあるが、ほかに、何か工夫していることなどあったら、伺いたい。

○公民館長

ひばりが丘公民館では、以前から、地域の特性をふまえてマンションに特化した防災講座に取り組んでいる。今回の防災講座は連続講座の最後の回が防災イベントで、楽しみながら継続できるようなしかけとなっている。

○B委員

防災講座（ひばりが丘）の第2回の講師は井の頭一丁目町会会長だが、この町会は、防災に限らず、町会はこのようなこともできるのかと思うような、ものすごくおもしろい活動をしている。町会の可能性が感じられると思う。

防災講座「子どもたちと体験しながら身に付けちゃおう！ 災害を乗り越える力」（芝久保）について、対象が小学生以上となっているが、主たる対象は小学生なのか、大人なのか、よくわからないので、伺いたい。

○分館長（芝久保）

防災講座（芝久保）は、小学生から大人までを対象としている。小学校4年生以上であれば子どものみの参加も可能。小学校3年生以下の子どもも保護者と一緒であれば参加できる。

○C委員

学校長である委員お二人に、防災講座に対するご意見を伺いたい。

○G委員

学習指導要領が改訂になり、小学校4年生から防災教育が入っているので、勉強する機会も

子どもたちの学習意欲もあると思う。しかし、小学校4年生の社会科は、副読本を用いた東京都に関する勉強が中心となっているので、防災教育にどれくらい取り組んでいるかは現場によって異なる。

○H委員

中学校では、安全教育という観点から、いろいろな視点で東京都から配布される資料を用いて計画的に防災教育を行っている。しかし、学校独自の防災教育になってしまっている。避難所運営協議会が学校と合同で避難所開設訓練をしているところもあるが、それは地域の状況による。地域との連携等については学校によって違いがある。

○B委員

情報提供をしたい。私が社会教育主事として勤務していた8年前、足立区では、希望する学校にポンプを配置して中学生消火隊を組織していた。地域の消防団がポンプの使い方を指導していて、中学生が消防団の大会にも参加していた。

○A委員

防災講座（ひばりが丘）について、第1回のワークショップで、自治会や地域で防災に取り組んでいる参加者が悩みを出し合うことになっているが、防災の取り組みがなぜ他の人にひろがらないのかを話し合うのではなく、自分は何故防災にこだわっているのかを伝え合い、自分を見つめることで、ほかの人に響く何かをつかむきっかけになるのではないかと思う。

**(3) 令和5年度第1回利用者懇談会報告について(資料3)**

●芝久保公民館の利用者懇談会について、参加した委員から実施内容や感想等を報告。

○C委員

保谷駅前公民館の利用者懇談会については、毎回、開催時間が短い。今後に向けて、改善していただきたい。

○D委員

谷戸公民館の利用者懇談会で、公共施設予約管理システム上で取り消しの手続きを行わない団体や公民館への連絡なしに当日キャンセルをする団体に対して、ペナルティを課すことを求める意見が出されていた。ペナルティを課す以外の対応があると考えているが、公民館で、このことに対してどのような検討がされているのか、伺いたい。

○公民館長

分館長会議で、ペナルティを課すのではない対応を検討している。

**(4) 令和5年度公民館市民企画事業について**

●公民館より、令和5年度公民館市民企画事業の申請及び実施状況について説明。

**(5) 令和5年度まちなか先生について**

●公民館より、令和5年度まちなか先生の実施・予定状況について説明。

**3 報告事項**

**(1) 行政報告**

○公民館長

10月24日（火）に教育委員会定例会が開催されたが、公民館に関する質問はなかった。

当初、教育委員会11月定例会で令和4年度公民館事業評価について報告する予定だったが、図書館事業評価と合わせて12月定例会で報告することになった。

**(2) 公民館だより編集室報告**

●担当委員より編集室における検討課題について報告

**4 事務連絡及び情報交換**

**(1) 令和5年度公民館運営審議会委員研修**

【日時】12月20日（水）午後6時30分～8時30分

- 【場所】柳沢公民館 視聴覚室  
【講師】荒井容子委員  
【内容】公民館事業評価について

(2) その他

○D委員

定例会で各委員から出された意見、感想等は、その後、公民館でどのように取り扱われているのか、伺いたい。

○公民館長

全職員にどのように伝えていくかが課題であると認識しており、分館長会議で方法について検討している。

●事務局より第60回東京都公民館研究大会について連絡

(3) 令和5年度第8回定例会の開催について

- 【日時】令和6年1月24日（水）午後6時30分  
【場所】柳沢公民館 視聴覚室